

# 野党が介護・障害福祉の賃上げと訪問介護緊急支援の法案を提出

1月29日、野党は「介護・障害福祉従事者処遇改善法案」と「訪問介護緊急支援法案」を衆議院に提出した。高齢者福祉・障害福祉職場の職員を対象にした月1万円の賃上げと、24年度の介護報酬改定で基本報酬を引き

下げられた訪問介護の事業者に支援金を支給し、次回の27年度を待たずに訪問介護の報酬改定をおこなうもの。衆院選で野党が多数になり、力関係が変わってきた。制度と政治を変えて職場と生活を改善していこう。

# 福祉のなごま

2025年  
3月号  
第395号  
全国福祉保育労働組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8サニープレイスビル5FA  
TEL 03-5687-2901(代) FAX 03-5687-2903  
メールアドレス mail@fukuho.org  
URL http://www.fukuho.info/  
X(旧ツイッター) @fukuho\_info  
発行責任者/土田昭一  
2025年3月5日発行

2024年12月7日の「組合結成を祝う会」。支部、地協などのなかまとともに全国のなかまからのメッセージにも励まされて



## 和歌山支部 みなべ愛之園こども園分会

メール相談から対話と学びあい  
で分会結成&改善実現！

# みんな辞めていく... どうにかならんのかな？

職員の仕事が組合経験のあるなかまを動かした

大量退職の原因は、低賃金と休みが取れないことなどです。現場はひたひたで、「このままでは保育の質が保障できず、3年目が迎えられない」との不安が広がりました。変化をつくるきっかけは、一人の職員のつぶやきでした。「何でこんなに給料が安いのか。休みも取れへんし、みんな辞めていく。どうにかならんのかな」。三谷安希さんは、労働条件を改善するために労働組合があることを思い出しました。



組合結成の中心を担った5人のなかま。前列左が分会長の三谷さん

田辺市の公立保育園で組合経験がある三谷さんは、「保育 組合」と検索し、24年2月に福祉保育労へ労働相談のメールを送りました。中央本部は、和歌山支部とともに阪和地方協議会を構成する大阪地本の専従役員に支援を要請しました。直後から10月末の結成までに10回の打ちあわせや学

習会が開催されました。学ぶことで組合への興味・関心は高まりましたが、「管理職を敵に回すよう怖い」「もっと働きにくくなるのでは」との不安も出されました。

なかまを信じて対話を重ねて困難を乗り越えた  
流れを変えたのは、「組合の権利」の学習と組合員ごとの中心を担うメンバーによる職員との対話でした。悩みや思いを聞きとめることで「お互い助けあおう」「いい保育をしよう」との思いが高まり、「これまでとは質的に違う団結」が生まれ、組合結成にむけた議論が再開しました。

8月10日、職員だけで協議しました。中心メンバーから「みんなで加入して立ち上がる。そうじゃないと変わらないし、意味をなさない」との呼びかけがあり、組合の必

### 誰もが発言できる場づくり 思いの共有が団結を深める

要性が議論されました。10月28日の「分会結成意思統一集会」で16人での分会結成を決めました。11月5日に法人に組合結成を通告し、25日に団体交渉を実施しました。

団交の成果に組合の力を確信

団交には、支部と阪和地協の支援のもと、分会員12人が参加し、23年度の公定価格5・2%引き上げ分による1人あたり約18万円の支給、年休5日取得義務と労働時間管理の徹底などを勝ちとり、職員代表も組合から選出しました。組合の力を確信したことで、「24年度の公定価格10・7%増をベースアップにつなげよう」と、次への意欲が生まれています。自分たちの力で現状を変えられるのか」と懐疑的だった意識が、成功体験により180度転換しました。

組合員の力の源は、先輩たちが培ってきた「発達に合ったゆとりのある保育」「子どもを尊重できる実践」を発展させたことだと思います。三谷分会長は「いい保育という労働条件がある、あの保育園で働きたい」とうらやましがられる園にしたい。統一要求実現という目標もできたので「と熱く語っていました。



悪気はまったくなく、むしろ当然のごとして善意で使われていても、モヤッとする言葉がある。テレビなどのメディアで、年配の芸能人が若い世代について「今の若い子たちは...」と表現することは珍しくない。私がかかわる組合活動でも同様の。中堅・ベテランの人が、主に20代の組合員を「若い子」と、1年目の職員を「1年目の子」と言っている場面によく出くわす。以前に、そう言われていることについて、若い組合員が私に「私、子どもじゃないんですけど」と、違和感をこぼしてくれたことがあ

# 3.13賃上げ・増員アクション みんなのじんけんまもれる福祉職場に

## 主 張 福祉のなかま 今月の

4月から5月まで、福祉保育労おしらせ・おさそいキャンペーンをすすめる。すべての新人職員を中心に組合未加入者に、福祉のなかま、4月号・準備OK? 4月スタート

場へ新入職員を迎える。入職して間もない時期は、戸惑いばかりで、特に緊張感が高く、不安も大きい。先輩から名前を呼んで声をかけ、フォローしていく気持ちや伝え、適切な対応を促すことが効果的。不安

えたい。一人ひとりに違いと個性があることを前提に、対話をすすめて。信頼を築いて相談してもらえ関係になるには、先輩が自分の過去の失敗を話すことが効果的。不安

屋)にある。長時間の工場労働で疲れた労働者は、バブに集まった。日々の愚痴を要求に変え、ストライキなどに立ち上がり、一時的なものではない組織を運営するに至った。あわ

- 3月**
- 6日(木) 福祉保育労中央行動
  - 12日(水) 集中回答指定日 この日までに回答を求めます
  - 13日(木) みんなのじんけんまもれる福祉職場に3.13賃上げ・増員アクション
- 回答を引き出して団体交渉をおこない、賃上げ・増員の実現に向けて各地で声をあげる行動の日です。
- 19時～20時30分  
2025国民春闘賃上げ回答特番YouTubeLive
- 5月**
- 1日(木) 第96回メーデー

### 組合活動のツボ

#### 13 分会会議を見直すレジュメをつくる

会議や打ち合わせなどで出席者に配られる資料をレジュメと言います。話しあいたいポイントをまとめたものです。具体的には、当日の議題と考えあうための要点、項目ごとのおおよその時間などを記載します。事前に配布しておく、考えて会議に臨むことができます。簡単な打ち合わせでも、箇条書き程度のレジュメがあると、ポイントを共有しうえて話しあいをすすめることができます。今回特に話しあいたいというテーマについては、視点や選択肢などを具体的に示すことも重要です。一人で悩まずに、相談しながら作成すると視野も広がりますよ。

★連載「組合活動のツボ」は今回で終了し、4月号からは新企画が始まります。



13日の「みんなのじんけんまもれる福祉職場に3.13賃上げ・増員アクション」では、全国の地方組織と職場・分会でさまざまな行動を駆けます。一人ひとりが「みんなのじんけんまもれる福祉職場に」のワッペンを身につけて就労しましょう。

職場や地域で宣伝用チラシやカードやメッセージ用紙の掲示、春闘チラシの

3月13日のQRコードはこちら

みんなのじんけんまもれる福祉職場に 2025国民春闘 賃上げ回答特番 YouTubeLive

全国リレー中継 ストライキの速報も!

3.13(木) 19:00～20:30

4.11(金) 19:00～20:30

- ### 3月13日の主な行動内容
- ワッペンシールを身につけて就労
  - 昼休みなどで集会
  - 朝・夕などに職場の前や都道府県庁・駅頭・地域で宣伝
  - 福祉保育労おしらせ・おさそいキャンペーンの周知と計画づくり
  - #みんなのじんけんまもれる福祉職場に #労働組合で声をあげよう #賃上げ・増員アクション でX(旧Twitter)発信・拡散を
  - 19時～20時半 「2025国民春闘賃上げ回答特番YouTubeLive」



# もうだまぐんぐん取れない

ワッペンシールを身につけて就労 職場・地域での宣伝に Xでの発信も

職場で集まる時には、4月からの「福祉保育労おしらせ・おさそいキャンペーン」の準備も話題にしましょう。

メッセージ用紙に思いを書いて SNSでの発信・拡散も



昨年アクションで、広島支部いずみ分会は「アクションもあそび」でアピール

3月13日、福祉保育労は「みんなのじんけんまもれる福祉職場に3.13賃上げ・増員アクション」を全国各地で展開します。要求書の提出、回答の引き出し、団体交渉などを踏まえて、社会や政治を強く迫ります。その中で、社会や政治に大幅な賃上げ・増員などを保障する制度改善を求めます。利用者や私たち、みんなの人権を守る福祉職場にするために、みんなで声をあげましょう。

物価高騰の影響は切実です。24春闘で団体交渉の開催が増えたことも、25春闘では「たたく労働組合」の「パージョンアップ」をさらにめざして、特に団体交渉の開催を追求していきま

250313YouTubeLiveのQRコード

3月13日は、春闘前半の山場として迎えます。国が用意した賃上げ原資の全額を法人が活用し、不足分の確保にも努力することが妥結の判断基準となります。全国のなかまが要求実現までたたく姿勢を、経営者だけでなく、未加入職員、利用者・家族、地域住民や関係団体などいっせいにアピールしていきます。あわせて、国が用意した賃上げ原資は足りないとを示して、社会的基準への運動、最低賃金と職員配置基準の引き上げ)が必要とすることを明らかにします。そのうえで、国・自治体や国会議員への要請などもおこない、春闘後半につなげていきます。

3月13日は、春闘前半の山場として迎えます。国が用意した賃上げ原資の全額を法人が活用し、不足分の確保にも努力することが妥結の判断基準となります。全国のなかまが要求実現までたたく姿勢を、経営者だけでなく、未加入職員、利用者・家族、地域住民や関係団体などいっせいにアピールしていきます。あわせて、国が用意した賃上げ原資は足りないとを示して、社会的基準への運動、最低賃金と職員配置基準の引き上げ)が必要とすることを明らかにします。そのうえで、国・自治体や国会議員への要請などもおこない、春闘後半につなげていきます。

物価高騰の影響は切実です。24春闘で団体交渉の開催が増えたことも、25春闘では「たたく労働組合」の「パージョンアップ」をさらにめざして、特に団体交渉の開催を追求していきま

### 九州地協 労働学校

2月2日 対話の講義と演習で 誘うトレーニングに挑戦!

23人が参加し、東北地協と同様に「なかまを増やす組合道場」をおこないました。感想アンケートには、事例の報告と職場にあてはめた検討に「自分本位にならないようにして組合に誘いたい」、対話の講義・演習は「言葉に出すことが苦手なので、アサーティブの手法をつかってお互いに気持ちのいいかわりしたい」などの声寄せられました。

### 中四国地協 労働学校

2月16日 健康で働き続けられる職場環境へ ホンネのトーク会を開催

オンライン開催で26人が参加。中央本部役員から25春闘の報告のあと、「労働組合の役割」「就業規則の見直し」「賃上げへのとりくみ」「ジェンダー平等宣言」の4グループで、ホンネのトーク会を実施。「非正規労働者の賃上げを訴えたい」「今後ジェンダー問題を意識したい」「同じ志をもつなかまと気兼ねなく話したい」などの感想が出されました。

### 福井・石川・滋賀地協 労働学校

2月9日・北陸 2月10日・滋賀 健康の大切さと身体の使い方 団体交渉の基本的学びと交流も

北陸会場では、腰痛の慢性化やメンタルシクでの休業が起きていることから、福田ひとみさん(元滋賀支部執行委員長)を講師に、健康の大切さや職場での対応の仕方を学び、身体の使い方やケアの仕方についてもレクチャーを受けました。滋賀会場では、「団体交渉をバージョンアップしよう」をテーマに、基本的学習と参加者の交流をすすめました。

### 関東甲信越地協 労働学校

2月1・2日 後半はグループに分かれて 要求内容や悩みなどを交流

1日目は、福祉保育労25春闘方針と統一要求書について、澤村書記長から説明をうけました。2日目は、小山副委員長を講師に「福祉職場の処遇改善に活かす労働基準法」と題して学習。両日とも、後半はグループに分かれて、要求内容を交流し、悩みや知恵を出しあいました。27人が参加して、神奈川からは最近加入した職場からの参加もありました。

### 東北地協 労働学校

1月18・19日 基礎を学んで好事例を共有 職場を想定して対話の演習にチャレンジ

共済学習の後、「なかまを増やす組合道場」の基礎講座とグループ交流、活動の活性化と関係づくりで組合員を増やした事例報告と自分の職場での検討をすすめました。対話の講座のあとは、新入職員を誘うロールプレイにチャレンジ。34人が参加し、「組合の勧誘だけでなく、日常でも活かせるテーマでとても勉強になった」などの感想が寄せられました。

地元選出の国会議員と地元で懇話をおこない、現場実態と賃上げ・増員につながる政策への理解を深めてまいります。7月におこなわれる参議院選挙で政治姿勢を力していきたいと思います。

## 3.13賃上げ増員アクションは春闘前半の山場

賃上げ原資の全額活用と不足分の確保努力を妥結の判断基準に

3月13日は、春闘前半の山場として迎えます。国が用意した賃上げ原資の全額を法人が活用し、不足分の確保にも努力することが妥結の判断基準となります。全国のなかまが要求実現までたたく姿勢を、経営者だけでなく、未加入職員、利用者・家族、地域住民や関係団体などいっせいにアピールしていきます。あわせて、国が用意した賃上げ原資は足りないとを示して、社会的基準への運動、最低賃金と職員配置基準の引き上げ)が必要とすることを明らかにします。そのうえで、国・自治体や国会議員への要請などもおこない、春闘後半につなげていきます。

物価高騰の影響は切実です。24春闘で団体交渉の開催が増えたことも、25春闘では「たたく労働組合」の「パージョンアップ」をさらにめざして、特に団体交渉の開催を追求していきま

昨年アクションで、広島支部いずみ分会は「アクションもあそび」でアピール

3月13日は、春闘前半の山場として迎えます。国が用意した賃上げ原資の全額を法人が活用し、不足分の確保にも努力することが妥結の判断基準となります。全国のなかまが要求実現までたたく姿勢を、経営者だけでなく、未加入職員、利用者・家族、地域住民や関係団体などいっせいにアピールしていきます。あわせて、国が用意した賃上げ原資は足りないとを示して、社会的基準への運動、最低賃金と職員配置基準の引き上げ)が必要とすることを明らかにします。そのうえで、国・自治体や国会議員への要請などもおこない、春闘後半につなげていきます。

物価高騰の影響は切実です。24春闘で団体交渉の開催が増えたことも、25春闘では「たたく労働組合」の「パージョンアップ」をさらにめざして、特に団体交渉の開催を追求していきま

昨年アクションで、広島支部いずみ分会は「アクションもあそび」でアピール



安井 まなみさん

東海地本 副執行委員長(社会館分会)



Myメッセージ

忙しさに流されることなく 平和について敏感であり続けたい

名古屋市の保育園で保育士として働き、昨年9月から東海地本の副執行委員長になりました。東海地本には平和部があり、活動として、平和行進や原水爆禁止世界大会への参加の呼びかけ、東日本大震災があった3月11日に「あすを灯すキャンドルプロジェクト」(あすキャン)、「被災地の生の声を聞く会」など、平和に関する企画をしています。

福祉の現場で働く私たちにとって、平和はなくてはならないものです。平和部がある意味とは、「利用者や子ども、働く私たちがすべての人の人権を守りたい」「戦争に向かう国にするのではなく、いのちを守るための国になってほしい」という願いを実現するためです。しかし、人手不足や仕事量の多さに心や体が疲弊すると、平和は二の次で、目の前の仕事や生活に精一杯になってしまいます。組合員の中には「なぜ組合活動で平和を大切にしたいのか」と、組合活動と平和がつながらない人もいます。忙しい中ですが、福祉労働者が平和について敏感であり続けることが必要だと思います。平和について考える機会を提供し続け、平和を願う大切さを伝え続けていきたいです。

Crossword puzzle grid with clues and answers.

応募方法

答えと「福祉のなかま」の気になった記事の感想、近況などを必ず添えて、ハガキかFAX、メールで送付ください...



クロスワードパズル

【解き方】二重ワクの文字を、A~Fの順に並べてできる言葉はなに? 【ヨコのカギ】

【タテのカギ】

13 きれいな声 15 江戸の火消しの目印 16 車を英語で 17 何かが起こりそうだと感じること

18 よいにおい 20 室町時代に中国や朝鮮を荒した日本人の海賊 22 70歳の祝い

1月号を読んで

やりがいを感じながらも...

東海地本・田代保育園分会 坪井 佳奈子さん 要求アンケートの特集記事を読んで、保育の仕事にやりがいを感じつつも、負担も大き...

全国の組合員のメッセージに刺激を受けて

京都地本・くりくま保育園分会 小林 萌子さん 「2025年わたしの挑戦」という特集で、全国のいろんな分会の方が熱い思いで活動されているのを知って、私もまずは分会に毎回参加...



絵本作家の訃報に

大阪地本・さつき福祉分会 福永 康太さん 「福祉の風」を読みました。子どもが生まれて絵本を買うことが妻と私の趣味になりました。...

駅頭署名行動と新年会で楽しく

大阪地本・こごせ福祉分会 渡鍋 一也さん 1月28日、寒い日でしたが、駅頭で職員を増やしてほしいと署名行動をおこないました。...

あったか 共済 コーナー

組合と共済セットで 増やそうよ!

福祉保育労 おしらせ・おさそい キャンペーン

4月~6月の共済加入でクオカード贈呈!

4月から6月までの3ヶ月間、組織拡大・強化のとりにくみとして、未加入職員に組合と共済の加入を呼びかける「おしらせ・おさそいキャンペーン」がはじまります。

すべての新入職員を含む未加入者に「福祉のなかま」や「組合リーフ」「共済チラシ」等を手渡し、福祉保育労を知らせて組合と共済の加入を呼びかけます。

未加入職員だけではなく、共済に加入していない組合員も対象で、キャンペーン期間中に新しく個人で共済に加入すると、クオカード1,000円分をプレゼント!

このチャンス! お見逃しなく!

春の年金共済 加入申し込み はじまりました

加入チャンスは年2回! 春の締切は5月15日



年金共済は2つのコースから選べます 掛金はどちらも月額5,000円から

- Aコース 個人年金保険料控除の対象 加入資格: 満60歳未満の組合員
Bコース 一般の生命保険料控除の対象 加入資格: 満68歳未満の組合員

※まとまった金額を一時払いで積み増し可能→将来の備えもアップ! パンフレットで詳細をご確認いただき、不明な点は福祉保育労共済にお気軽にお問い合わせください。

60歳を過ぎて再雇用になると、生活がさらに厳しい状況に。さらに、65歳からの公的年金も人間らしく生活できる金額ではありません。

組合員のための年金共済に加入して、将来の生活の準備をしませんか。

ぜひ分会会議の時間を活用して、福祉保育労共済の学習動画をご覧ください

役員・共済 担当者用



組合員用

